

シズデ発 SDGsプロジェクト

shizude TRYSDGs!

シズデの今までの様々な社会貢献の取り組みは、SDGsによりさらに次の段階へステップアップ!『多様な変化を迎える今後10年の社会において、次世代を牽引する発想力、実行力を持つ人材の育成』『学校を通じて団体・企業・地域・社会が抱える課題を共有し、デザイン的手法で解決に導くハブ機関となる』など、デザインと地域を結びつけるSDGs活動を通して、新たな社会貢献のあり方を次世代に向けて日々発信しています。

※シズデは2019年12月24日(火)に宣言書を静岡市に提出し、静岡県下専門学校では初の「SDGs宣言」をしました。

TRYSDGs! 活動紹介

シズデが目指す3つのSDGs目標

デザイン的手法で問題を解決へ導くことができる
シズデの強みを活かし、
「デザイン教育」「まちづくり」「パートナーシップ」の
3つの目標を中心にSDGsに取り組んでいます。
未来を変える活動をいま、シズデから。

目標4. デザイン教育



質の高い教育を
みんなに
デザイン教育を通じて
SDGsの取り組みを理解し
実行できる人材を育成

目標11. まちづくり



住み続けられる
まちづくりを
地域の団体・企業と協力し
各学科の特性を活かした
まちづくりに貢献

目標17. パートナーシップ



パートナーシップで
目標を達成しよう
SDGsの取り組みにおいて
地域社会と人をつなげる
場所を提供



「日伯友好・交流」をテーマに、ブラジルで愛されている国民的漫画家マウリシオ・ソウザ氏のキャラクターを研究し、両国の問題解決などを踏まえた企画からデザインを制作。ソウザ氏を迎えた最終プレゼンテーションでは日本とブラジルをパソコンでつなぎ、国境を越えた新しい交流の形を実現させました。

グラフィックデザイン科 広告ゼミ



地域の高齢者福祉施設を訪問、植物や花由来の多彩なりハビリメニューを通じ、高齢者のパワーを引き出す活動です。2020年は学校と福祉施設をパソコンでつなぎ、手話を使ったメニューを考案し実施しましたが、お互いに離れていても一体感を感じ、未来の福祉の在り方について大きな手応えを掴みました。

フラワーデザイン科 園芸福祉



静岡県障害者文化芸術支援活動センター「みらーと」が主催する、障がい者ファッションショー「Look@me!」に学科を超えた有志の学生が参加し、今年度もハンディキャップのある方の芸術活動の理解と支援を促進する活動のサポートを行いました。

メイク&ファッション系学生が障がい者モデルのヘアメイクとフィッティングを、また2020年は感染拡大防止のため無観客ステージでの映像収録となったため、映像系学生がWeb配信用の映像撮影と制作を、それぞれがスタッフとして専門分野を活かしました。

じっくり一人一人と向き合いコミュニケーションを取りながら、人を幸せにするデザインのチカラを感じ取った1日でした。

【依頼元 認定NPO法人 オールしずおかベストコミュニティー】

ブライダル・ビューティー科 / ファッションビジネス科 / グラフィックデザイン科 障がい者ファッションショー